

# チッパー

## 取扱説明書

### CW-202H CW-202H(5)

#### も く じ

##### ご使用になる前に

- はじめに ..... 1
- 安全のため必ずお守りください ..... 2
- 各部の名称とはたらき ..... 7
- 使用前の準備と作業前の点検 ..... 8

##### ご使用にあたって

- 走行及び作業のしかた ..... 10

##### 知っておきたいこと

- 定期点検と調節 ..... 14
- 長期格納のしかた ..... 18
- 不調の原因と処置 ..... 18

##### その他

- 仕様 ..... 19
- 消耗部品 ..... 19
- オプション ..... 19
- 安全確認一覧表 ..... 20

ご使用前に必ずお読みください  
いつまでも大切に保管してください

# はじめに

このたびは、本製品をお買上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の正しい安全な使いかた、保守点検などについて記載してあります。本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになって、本機の構造などをじゅうぶんご理解ください。

なお、仕様などの変更により、お求めいただいた製品と、本書の内容やイラストの一部が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お読みになった後、必ず大切に保管し、わからないことがあったときは、いつでも取出してご利用できるようにしておいてください。

## ■危険防止

この取扱説明書では、必ず守っていただきたい重要な注意事項について、次のように表示しています。

### 1. 安全のため必ず守っていただきたいこと。

**⚠ 危険** ……もし守らないと、死亡または重傷事故を引起こします。

**⚠ 警告** ……もし守らないと、重傷事故を引起こすことがあります。

**⚠ 注意** ……もし守らないと、負傷事故を引起こすことがあります。

### 2. 機械の損傷を防ぐため必ず守っていただきたいこと。

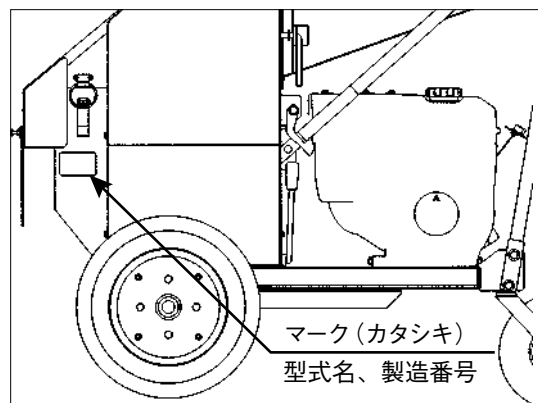
**重要** ……もし守らないと、機械の故障や損傷につながります。

## ■ご不明な点や不具合がありましたら

本書や本機についてご不明な点や、不具合がありましたら、無理に使用せず、ご購入店または弊社（本書のうら表紙に記載）までお問合わせください。

軽い故障でも重大事故につながる可能性がありますので、早期発見に心がけ、早めに整備してください。

故障や不具合が発生したときは、型式名と製造番号を必ずご連絡ください。



### ⚠ 警告

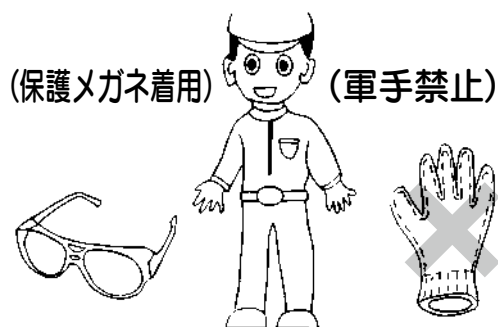
- 本機は剪定枝・間伐材破砕用として設計されています。この他の用途には使用できません。
- 改造して使用することは、しないでください。

# ⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

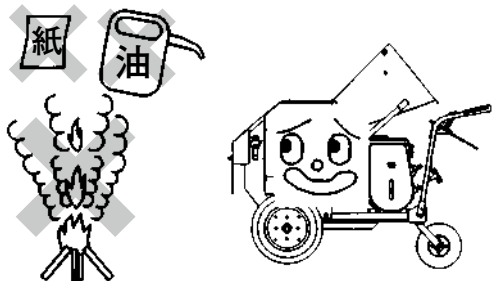
使用前にこの取扱説明書とエンジンの取扱説明書をよく読み、理解する

機械を他人に貸す場合は取扱い方法をよく説明し、あらかじめ取扱説明書をよく読ませる

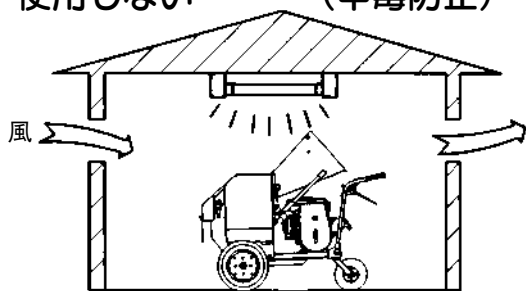
作業に合った服装



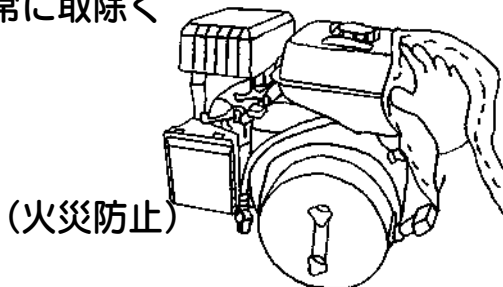
給油はエンジンを止めて、冷えてから、又周囲の火気厳禁



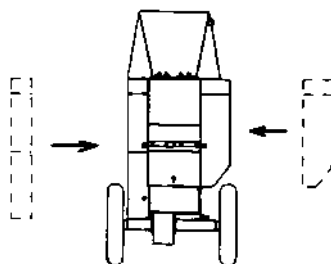
室内換気の悪い所、暗い所では使用しない (中毒防止)



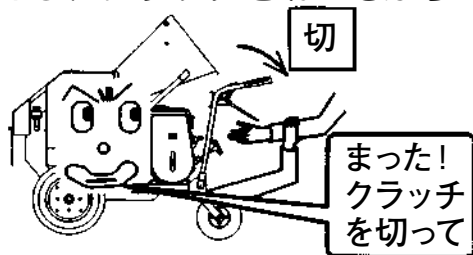
エンジンに附着したゴミなどは常に取除く



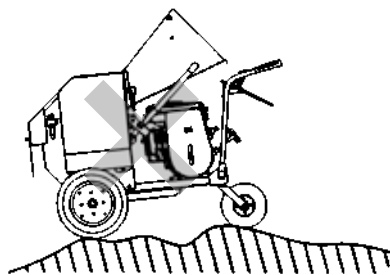
カバーは必ず取付けてから運転



エンジン始動は周囲の安全を確認し、クラッチを切ってから



作業は水平でしっかりした場所で

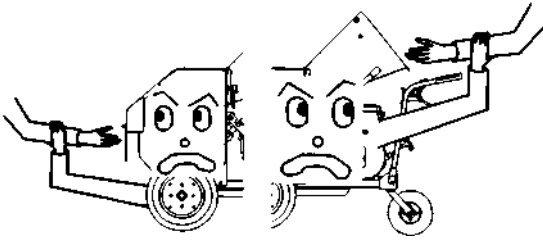




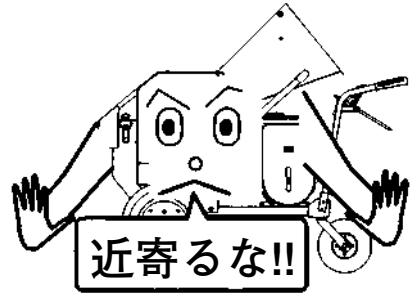
**注意**

**安全のため必ずお守りください**

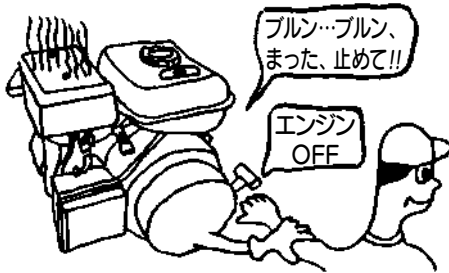
回転中は供給口や排出口へ絶対に手を入れない



回転中は人を近づけない



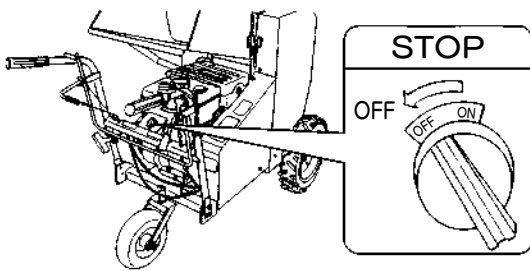
機械から離れる時はブレーキを掛け、エンジン停止し、冷えてから



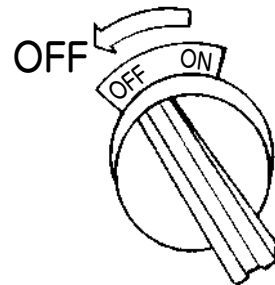
エンジンの高温部には、絶対に手を触れない



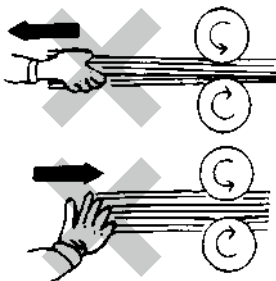
点検や調整時は必ずエンジン停止



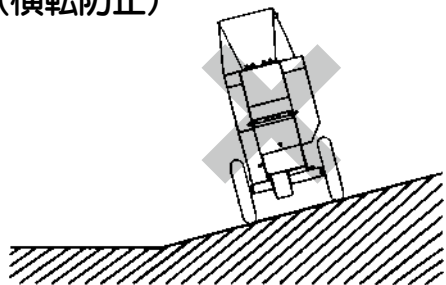
詰まりや異常発生時はすぐにエンジン停止



供給物を無理に引っ張ったり、押し込んだりしない

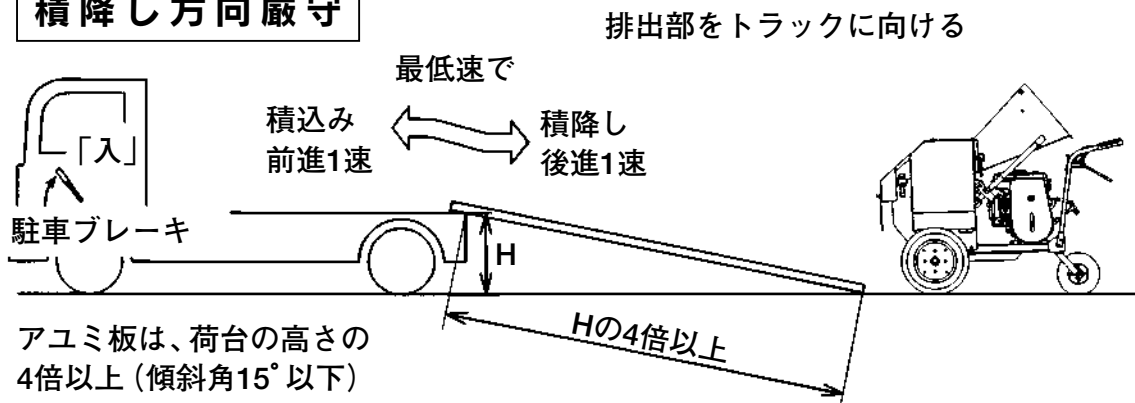


10°以上の傾斜面には乗り入れない (横転防止)

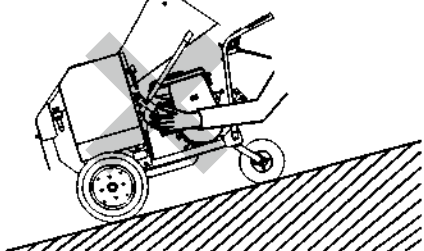


# ⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

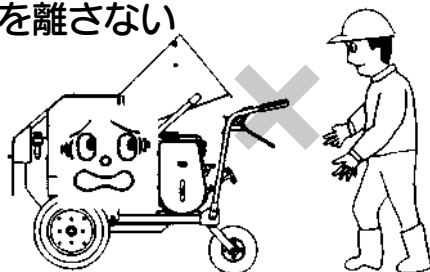
## 積降し方向厳守



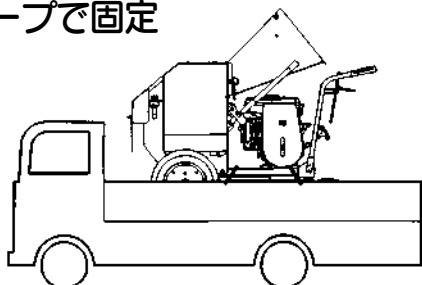
アユミ板上、傾斜地での変速は絶対しない。



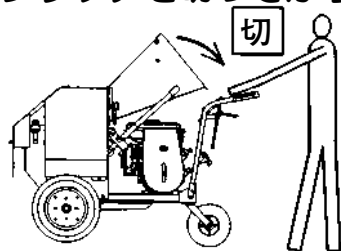
走行中はハンドルから絶対に手を離さない



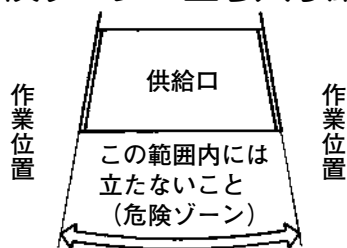
公道走行禁止、トラックで輸送ロープで固定



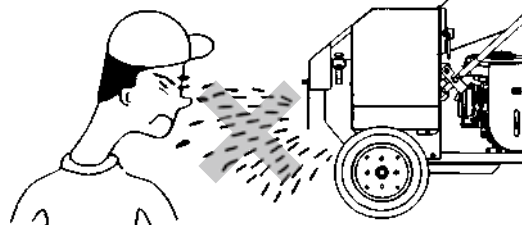
作業中の移動禁止  
作業クラッチを切ってから



作業位置厳守  
“危険ゾーン” 立ち入り厳禁



排出口は人や家畜、火気には向けない



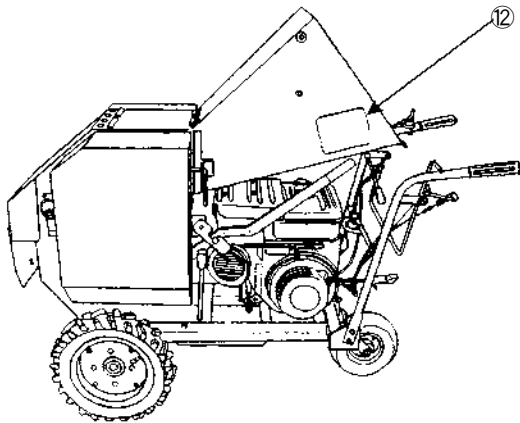
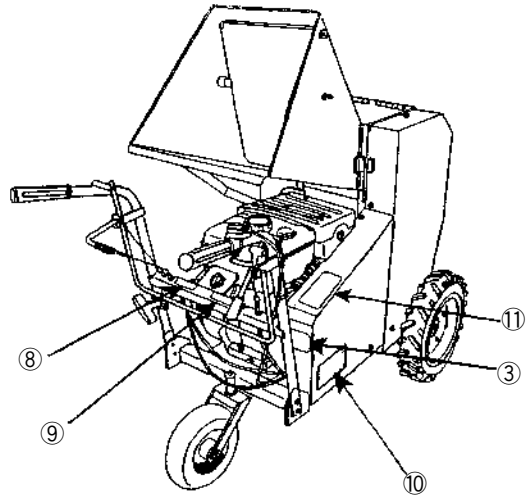
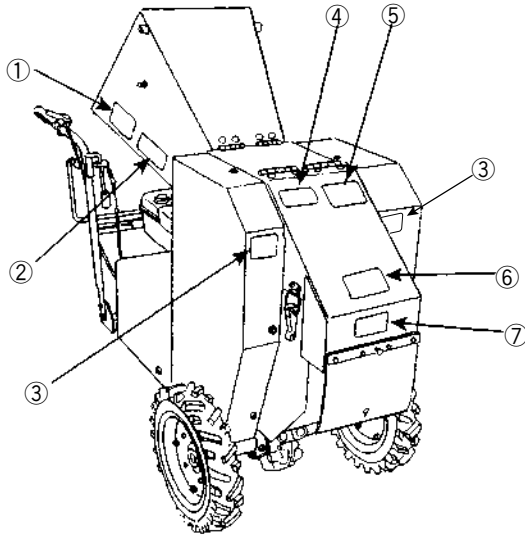


**注意**

**安全のため必ずお守りください**

**使用前に安全ラベルをよく読む**

●本機には次の安全ラベルが貼ってあります。良くお読みになって、理解した上で作業してください。



① 品番 71131-41131

	<b>危険</b>
	<p>1.回転中この中に絶対手を入れないこと。中の回転物に巻き込まれケガをします。</p> <p>2.供給口を外したままで使用しないこと。</p> <p>71131-4113-1</p>

② 品番 71713-7112-1

	<b>注意</b>
	<p>保護メガネなどの安全具を使用して作業すること。</p> <p>供給物が飛び出しケガをすることがあります。</p> <p>71713-7112-1</p>

③ 品番 5J066-6115-1

<b>注意</b>
<p>中の回転物によりケガをするおそれがあるので、運転中はこのカバーの中には手を入れないこと。</p> <p>5J066-6115-1</p>

④ 品番 53981-64321

<b>注意</b>
<p>中に回転物がありケガをするので、点検・調整時はエンジンを必ず止めること。</p> <p>点検・調整後はカバーを必ず取付けること。</p> <p>53981-64321</p>

**注意****安全のため必ずお守りください**

⑤ 品番 71722-61171

	<b>警告</b>
	<p>動力を切っても回転刃はすぐには止まりません。 回転刃が完全に停止するまではこのカバーを開けないこと。 中の回転刃によりケガをすることがあります。</p> <p>71722-61171</p>

⑥ 品番 71131-41141

	<b>危険</b>
	<p>回転中はこの中に絶対に手を入れないこと。 中の回転刃によりケガをします。</p> <p>71131-4114-1</p>

⑦ 品番 71131-4116-1

	<b>注意</b>
	<p>1. 人や家畜に吐出口を向けないこと。 切断物があたりケガをすることがあります。 2. 吐出口を外したままで使用しないこと。</p> <p>71131-4116-1</p>

⑧ 品番 71335-41131

<b>注意</b>	<p>発進・後退・旋回は低速で行うこと。 急速発進等は、機械にはさまれたり、押し倒されたりして、大変危険です。</p> <p>71335-41131</p>
-----------	--

⑩ 品番 71721-61151

<b>注意</b>
<p>トラックへの積み込み、積み降ろし</p> <p>1. 積み込みは前進1速、積み降ろしは後進1速でエンジン回転を最低にして行ってください。 反対側からの積み込み、積み降ろしは、大変危険ですので絶対に行わないでください。</p> <p>2. アユミ板は、荷台の高さの4倍以上のものを使用してください。</p> <p>71721-6115-1</p>

⑨ 品番 71345-41141

<b>注意</b>	<p>エンジンをかけるときは必ずクラッチを「切」にすること。</p> <p>71345-41141</p>
-----------	---

⑫ 品番 71721-61131

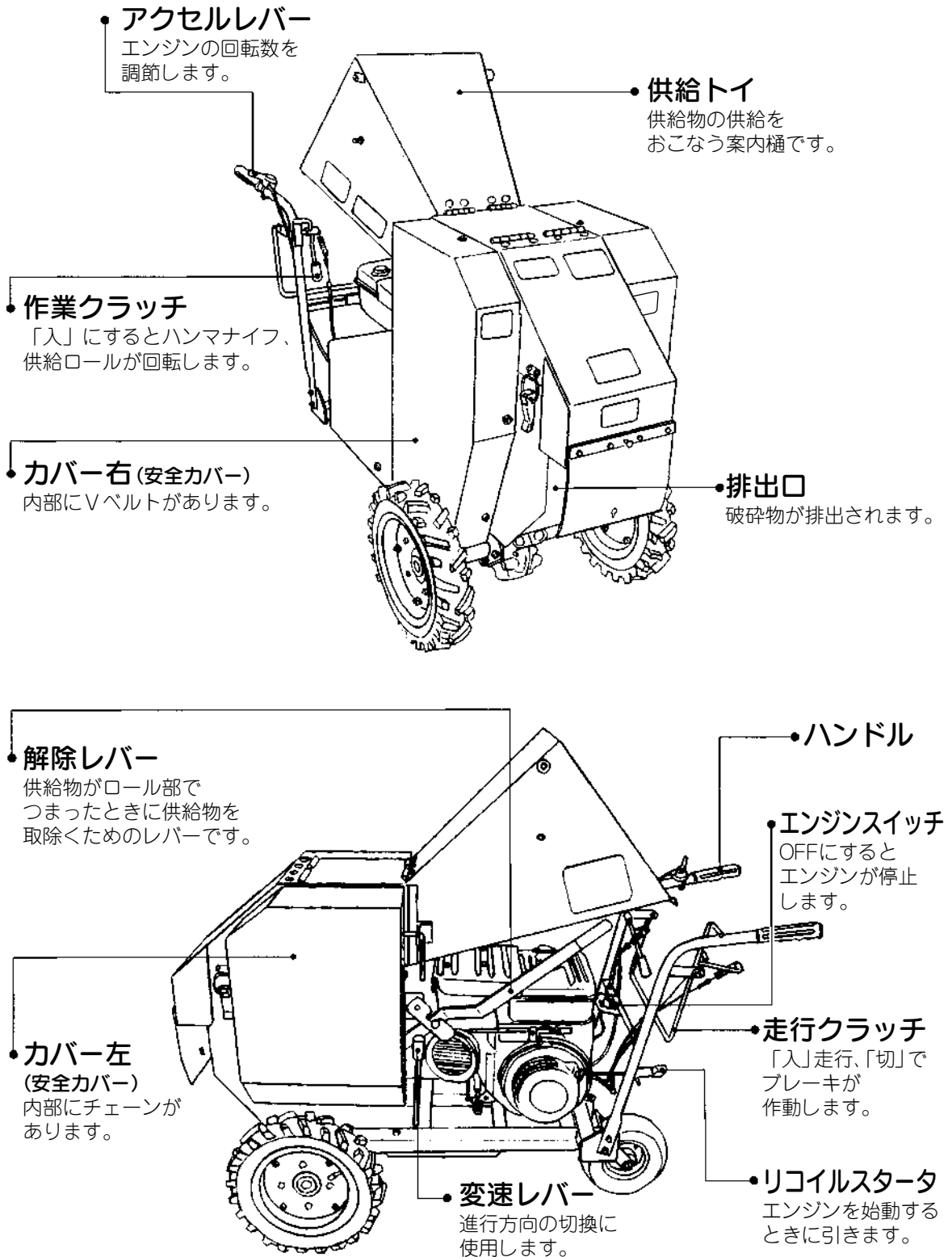
<b>警告</b>
<p>1. 作業中供給口の前の（危険ゾーン）には立たないこと。 供給物が飛び出し、ケガをすることがあります。 2. 供給作業は、必ず供給口に向かって左側又は右側の作業位置からおこなうこと。</p> <p>71721-6113-1</p>

⑪ 品番 71131-41171

<b>注意</b>
<p>1. 取扱説明書をよく読み、機械の使い方をよく覚えてから使用のこと。 2. 取扱説明書がない場合は取寄せてください。 3. 必ず動力部の安全カバーを取り付けて使用のこと。 4. 点検整備時は、必ず動力を止めること。 5. 点検整備で取り外したカバー類は、必ず元通り取り付けること。</p> <p>71131-4117-1</p>

- ラベルはいつもきれいにし、ハッキリと見えるようにしてください。
- シナーやアセトンなどの溶剤ではふかないでください。文字や絵が消えることがあります。
- ラベルが損傷・破損した場合は新しいラベルと交換してください。
- 安全ラベルを貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい安全ラベルも取寄せ、取外した部品と同じ場所に貼ってください。

# 各部の名称とはたらき





# 使用前の準備と作業前の点検

## 注意

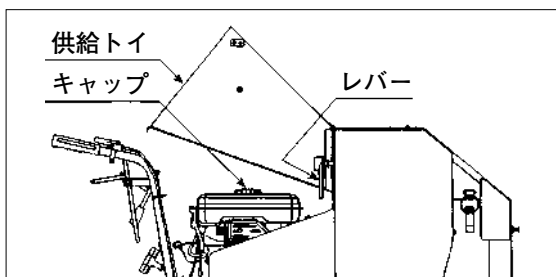
- 準備・点検作業は必ずエンジンを停止しブレーキを掛けた状態で行なってください。

## 1. 燃料の供給・点検

## 注意

- 燃料の補給は必ずエンジンを停止し、完全に冷えてから行なってください。エンジンが熱い間はヤケドや火災の危険があります。
- 火気の近くや、くわえたばこでの燃料補給は絶対にしないでください。火災や爆発の危険があります。

- ①左右のレバーを上へ上げて解除する。
- ②供給トイを上げる。
- ③キャップをあけて燃料を補給する。
- ④供給トイを下げレバーで確実にロックする。



## 重要

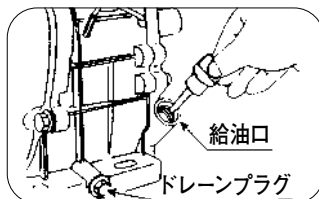
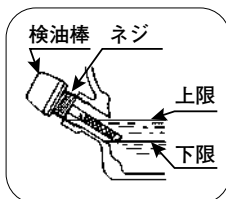
- 燃料は自動車用レギュラガソリンを使用し、それ以外は使用しないでください。

## 注意

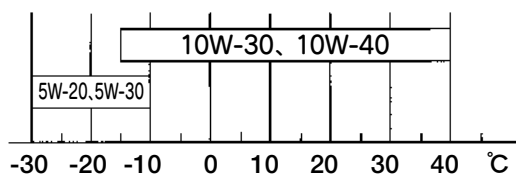
- 給油後キャップを確実に締め、こぼれた燃料はきれいにふきとってください。

## 2. エンジンオイルの点検と交換

- ①検油棒を抜いて、先端をきれいにふいた後、もう一度ねじ込まずに差し込んでから抜き出し、ゲージの上限にオイルがあるか調べます。
- ②不足しているときは、給油口より上限になるまで入れて下さい。



## エンジンオイル



## 定期オイル交換

オイルの交換は1回目20h、2回目以降は100h毎に行なってください。

オイルの抜き取りは、ドレインプラグを外して行なってください。

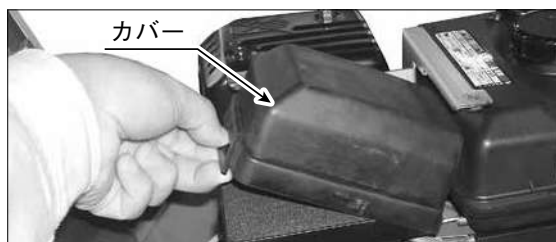
## 3. エアクリーナの掃除

毎日作業前にエアクリーナのクリーナエレメントを点検し、汚れていれば掃除してください。

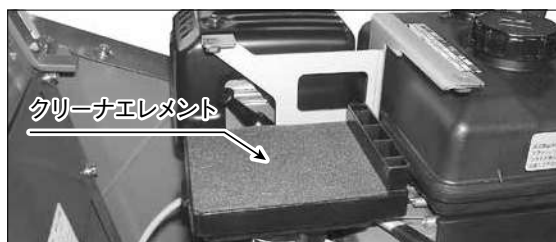
- ①エンジン上部カバーとスクリーンを取り外してください。



- ②エアクリーナのカバーを外し、クリーナエレメントを点検してください。



- ③クリーナエレメントの汚れがひどいとき、およびオイル分がなく乾いているときは、白灯油で洗浄後エンジンオイルに浸し、片手で固く絞ってください。



#### 4. エンジン・チップパーの掃除

エンジン・チップパー及びその周辺のごみ・ほこりなどを毎日作業前にきれいに取り除いてください。

##### ⚠ 注意

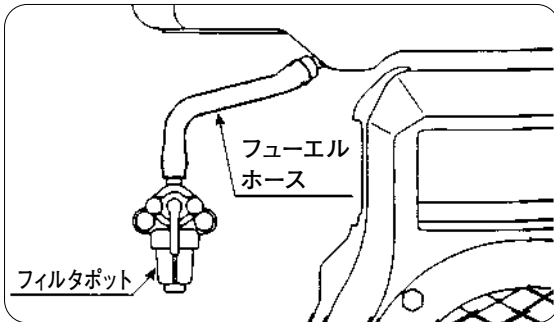
- エンジンの高温部にごみ・ほこりなどがあると火災の原因となります。
- エンジンの冷却風の通路がごみなどでふさがれると、過熱して火災の原因となります。

#### 5. エンジンの燃料パイプの点検・交換

エンジンのフューエルホース及びゴム類は1年毎（但し、必要に応じ交換）に交換してください。また、ホース類が傷んだり、締付けバンドがゆるんでいないか、常に注意してください。

##### ⚠ 注意

- フューエルホース等の老化・傷により燃料がもれると火災の原因となります。

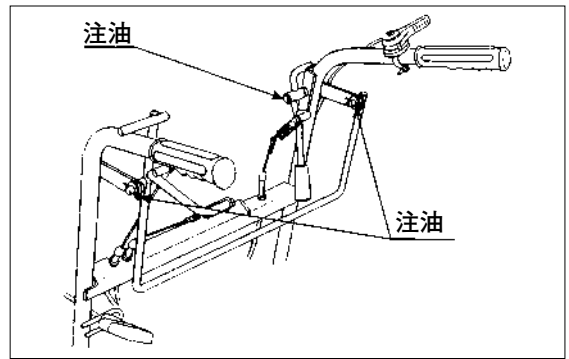
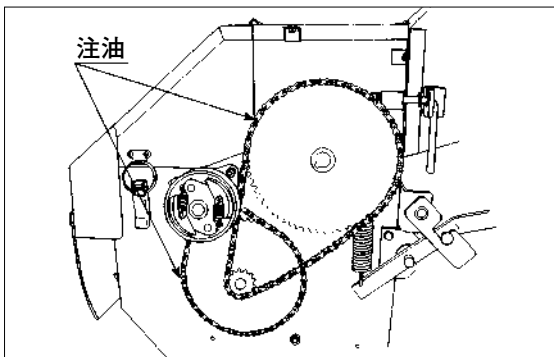


#### 6. 燃料フィルタの掃除

フィルタポットにホコリや水などが溜まっている場合は、フィルタポットをはずして、中のこし網をガソリンで洗浄してください。

#### 7. 注油箇所

注油箇所……………チェーン、スプロケット各レバー支点部

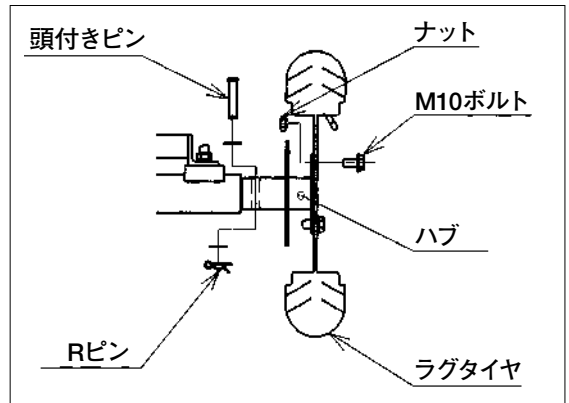


#### 8. 車幅の設定

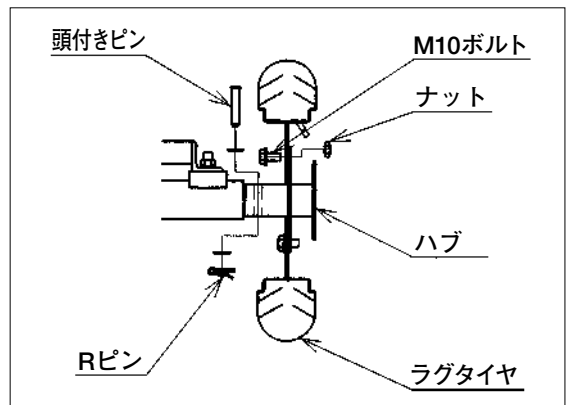
車輪の取付け位置を変更する事で、車幅を狭める事ができます。狭い場所で作業を行う場合など、必要に応じてラグタイヤの位置を変更してください。

- ① Rピン、頭付きピンを抜き、本体からハブとラグタイヤを取り外す。
- ② M10ボルト、ナットをゆるめ、ハブからラグタイヤを取り外す。
- ③ 下図のようにラグタイヤの位置を変え、逆の順序で組み付ける。

- 標準の車輪位置（出荷時）



- 車幅を狭める場合



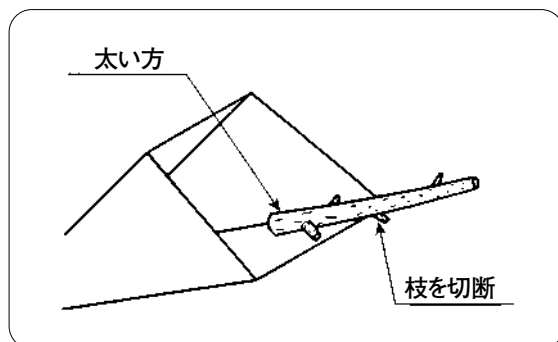
# 走行及び作業のしかた

## 作業条件

- 本機の性能をじゅうぶんに発揮させるため、供給材料の条件を守って作業を行なってください。

材 質	最大処理径
軟質材	φ60
硬質材	φ45
ロープ、ヒモ、金属類は供給不可	

- 最大処理径は、およその目安であり保証するものではありません。
  - 破砕物を供給するときは、太い方から供給してください。
- 又枝等がある場合は、なるべく枝を切断してから供給してください。



### 重要

- 青葉が付いている枝を供給するとスクリーン部で目詰まりする場合があります。

### 注意

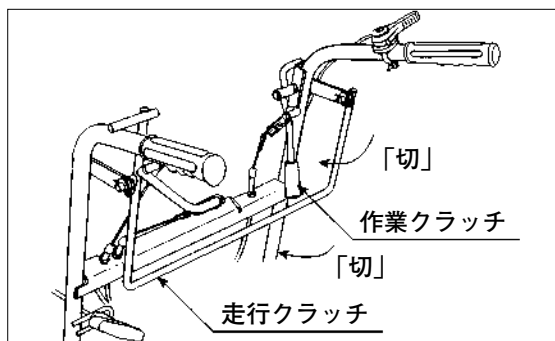
- 本機には照明灯が付いておりません。暗くなってからの作業は行なわないでください。
- 機械を離れるときは必ずエンジンを停止し冷えるまで待ってからにしてください。
- エンジン回転中と停止後10分位はエンジンに触れないでください。ヤケドをします。

## 1. エンジン始動

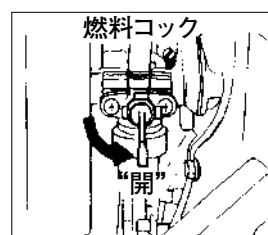
### 注意

- 必ず走行クラッチ・作業クラッチを「切」にしてから始動してください。
- 周囲の安全をじゅうぶん確認してから始動してください。
- カバー類を外したままでエンジンをかけないでください。回転体に巻き込まれてケガをします。

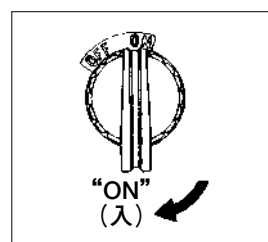
- ① 「走行クラッチ」「作業クラッチ」共に「切」にします。



- ② 燃料コックを「開」にする。



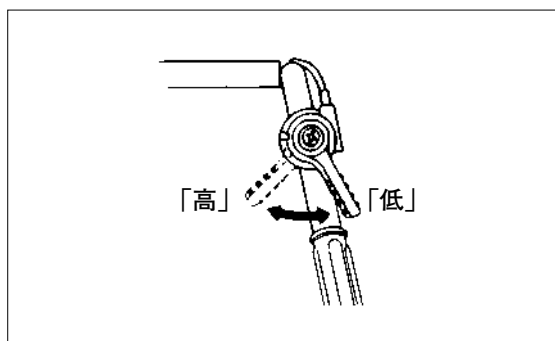
- ③ エンジンスイッチを「ON」にする。



- ④ チョークレバーを「閉」にする。(エンジンの熱いときは不要です。)



- ⑤ アクセルレバーを「低」と「高」の中間の位置にする。



- ⑥リコイルスタータハンドルを引き、始動します。始動したらチョークレバーを「開」にする。
- ⑦始動後3～5分間は負荷をかけずに低速で暖機運転を行ないます。

## 2. エンジン停止

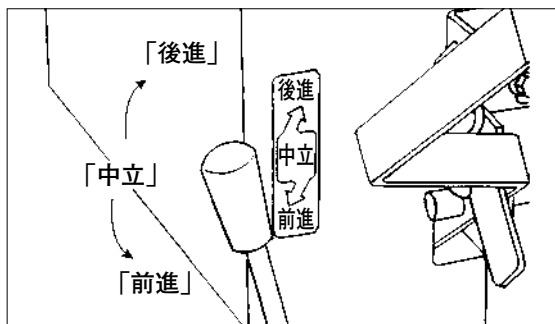
- ①走行クラッチ・作業クラッチを「切」にする。
- ②アクセルレバーを「低」にする。
- ③エンジンスイッチを「OFF」にする。
- ④燃料コックを「閉」にします。

## 3. 走行

### ！ 注意

- 発進・後退・旋回は低速で行なってください。急発進などは機械にはさまれたり、押し倒されたりして、大変危険です。
- 走行時は必ず作業クラッチを「切」にしてください。
- 本機の前後角度は15°で横転角度は10°です。それ以上の傾斜面には危険ですから乗り入れないでください。
- 走行中は、手放し運転は絶対にしないでください。
- できるだけ凹凸の少ない平坦な場所を選んで移動してください。
- 坂道での変速は絶対しないでください。「中立」になるとブレーキがききません。
- 機械には物を乗せないでください。
- 走行クラッチは必ず手で操作し、「入」または「切」の位置に確実に固定してください。クラッチを途中で止めると、坂道などで自重により暴走する危険があります。また、緊急の場合をのぞいて、胴体など手以外の部位を使って、クラッチを切ることはしないでください。

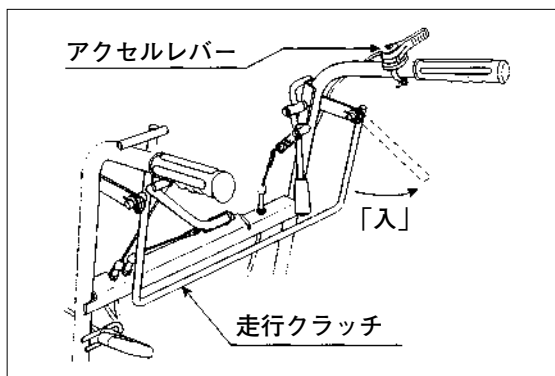
- ①変速レバーを「前進」か「後進」に合わせます。



### ！ 注意

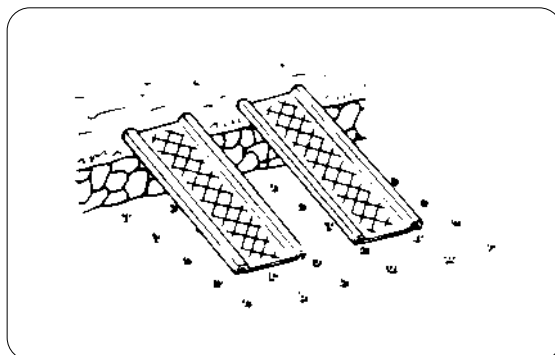
- 発進・後退・旋回時は、必ず周囲の安全を確認してください。

- ②走行クラッチをゆっくりと「入」にし、走り出した後、アクセルレバーを上げます。



### ！ 注意

- 段差の乗り越えは、低速で段差に直角に進入してください。5cm以上の段差、又は、コンクリートの畦畔は必ずあゆみ板を使用してください。
- 作業場所への移動は、必ずトラックで移送してください。公道走行は、交通法規違反になります。



■手押し走行する場合は、変速レバーを「中立」にして移動します。

#### 4. 駐・停車

- ①走行クラッチを「切」にします。
- ②エンジンスイッチを「OFF」にします。

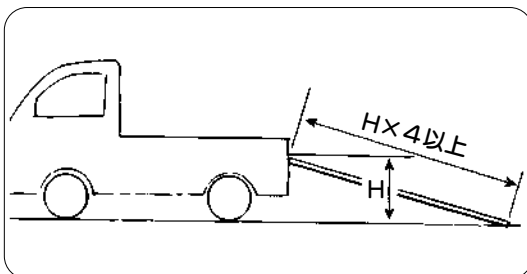
#### ⚠ 注意

- 機械を離れる時は平坦で安定した場所で、走行クラッチを「切」にし、エンジンを止め、変速レバーを「前進」か「後進」に合わせてください。
- 坂道で駐車するときは、木片などで車止めをして暴走を防止してください。

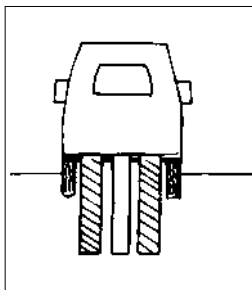
#### 5. トラックへの積み込み、積降しのしかた

#### ⚠ 注意

- トラックへの積み込み、積降しは大変危険が伴います。手や足をはさまないように、又落下させないように充分注意してください。
- 平坦な場所で作業してください。
- あゆみ板はトラックの荷台高さの4倍以上の長さで、すべり止めの付いた強度300kg以上のものを使用してください。



- あゆみ板は3枚使用し、中央のあゆみ板に尾輪が乗るようにしてください。
- 積み込みは前進で、積降しは後進で低速で行なってください。
- あゆみ板の上では変速レバーを絶対に変えないでください。機械が落下します。
- 積込んだらエンジンを停止し、燃料コックを「閉」にしてください。
- 運搬中に機械が落下したり移動したりしないよう、走行クラッチを「切」にし、変速レバーを「前進」か「後進」に合わ



せ、必ずロープ等でしっかりと固定してください。

#### 6. 作業場所の選定

#### ⚠ 注意

- 密閉した又は通気性の悪い場所では絶対に作業しないでください。排気ガスが充満して中毒死するおそれがあります。
- 火気のある所では絶対に作業しないでください。破碎した木片などに引火し、火災のおそれがあります。
- 水平で平坦な場所で作業してください。傾斜地や不安定な所では、作業中に移動したり転倒したりする危険があります。

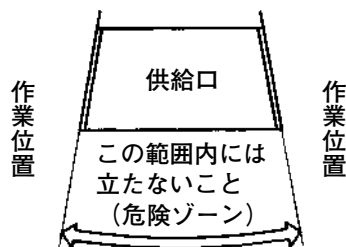
#### 7. 破碎作業

#### ⚠ 注意

- チップパー回転中は供給口・排出口の中に絶対手を入れないでください。中の回転体で大ケガをします。

#### ⚠ 注意

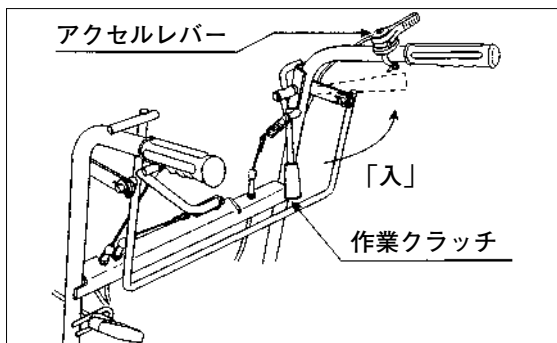
- 作業中供給口の前の（危険ゾーン）には立たないでください。供給物が飛び出して来てケガをすることがあります。
- 供給作業は、必ず供給口に向かって左側又は右側の作業位置から行なってください。



**注意**

- 必ず保護メガネを着用して作業してください。供給物が飛び出しケガをする場合があります。
- 走行しながらの破碎作業は絶対しないでください。
- 排出口を人や家畜及び火気に向けないでください。破碎物が飛散して傷害事故や火災になることがあります。
- 作業中は周囲に人を近づけないでください。特に子供さん達に注意してください。
- 軍手は使用しないでください。供給ロールに巻き込まれ大ケガの恐れがあります。
- 供給物に異物（石・工具・金属など）が混入しないように注意してください。突発的に思わぬ方向に飛散し、事故につながることもあります。
- 破碎物が排出口部に溜まってきたら移動してください。危険ですから手や足では取り除かないでください。
- 作業中に詰まりなどの異常が発生した場合はすぐにエンジンを停止し、機械の回転が止まってから点検してください。

- ①エンジンを始動する。
- ②アクセルレバーを「高」にする。
- ③作業クラッチをゆっくりと「入」にする。



- ④破碎物を供給トイに載せ、供給する。

**注意**

- ムリに供給物を引っ張ったり押し込んだり、附着物を手で取ったりすることは絶対にしないでください。

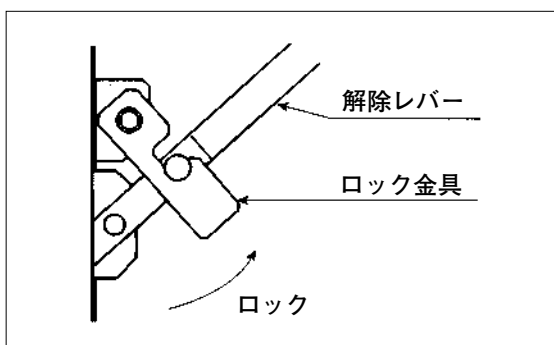
## 8. 詰まりの解除

**注意**

- 必ずエンジンを停止し、機械の回転が完全に止まってから行なってください。

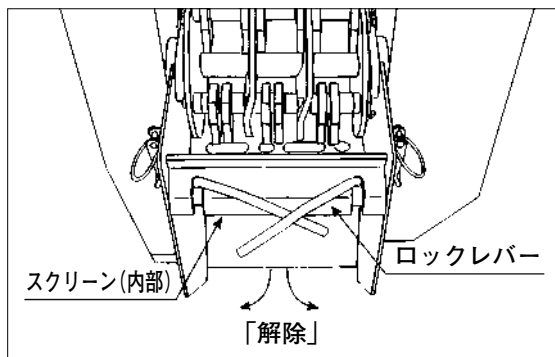
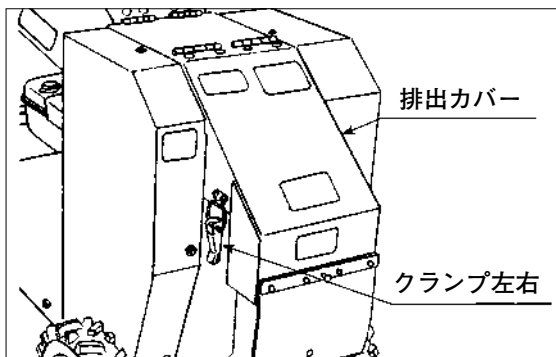
### ■喰込みロール部での詰まり解除

- ①作業クラッチを「切」にする。
- ②エンジンスイッチを「OFF」にし、回転体が完全に止まったのを確認する。
- ③解除レバーを持ち上げ、ロック金具を外す。
- ④解除レバーを下げてロールを開き、供給物を除去する。
- ⑤解除レバーを上まで上げて、ロック金具でロックする。



### ■ハンマナイフ部での詰まり解除

- ①作業クラッチを「切」にする。
- ②エンジンスイッチを「OFF」にし、回転体が完全に止まったのを確認する。
- ③左右のクランプを外し、排出カバーを上を開ける。
- ④スクリーンのロックレバーを解除し、スクリーンを下げて破碎物を除去する。
- ⑤スクリーンを上げてロックレバーでロックし、排出カバーを閉じてクランプで固定する。



## 定期点検と調節

### ⚠ 注意

- 点検・調整は必ずエンジンを停止し、機械の回転が止まってから行なってください。
- 外したカバーは、元通りに組付け、ボルト・ナットは確実に締付けてください。

### 1. 給油・点検調整一覧表

### ⚠ 注意

- オイルの交換・給油は火気のない場所で行なってください。

#### ■注油・交換

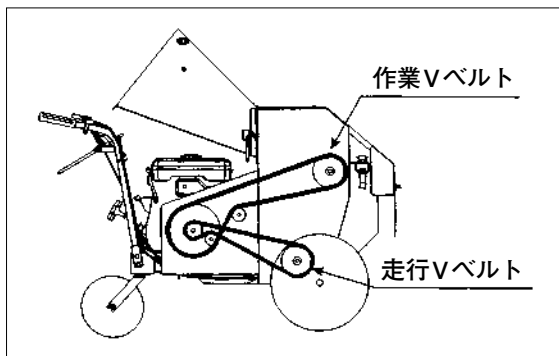
項目	参照ページ	給油・交換時間	オイルの種類	給油量
エンジンオイル	P 8	初回20時間で交換 2回目から100時間で交換	SE級以上	0.55 ℓ
ミッションオイル	P 15	300～500時間で交換	ギヤオイル #90	0.7 ℓ
チェーン	P 15	シーズン前とシーズン終了毎に注油	ギヤオイル	適量
走行クラッチ支点	P 15	シーズン前とシーズン終了毎に注油	ギヤオイル	適量
作業クラッチ支点	P 15	シーズン前とシーズン終了毎に注油	ギヤオイル	適量

#### ■点検・調節

項目	参照ページ	実施期間
走行クラッチワイヤ	P 16	20時間毎、ベルト交換時
作業クラッチワイヤ	P 16	20時間毎、ベルト交換時
ブレーキワイヤ	P 16	20時間毎
ハンマナイフ	P 17	刃先に丸みが出た時
フューエルホース	P 9	1年毎（但し、必要に応じ）交換
走行Vベルト	P 15	20時間毎点検
作業Vベルト	P 15	20時間毎点検

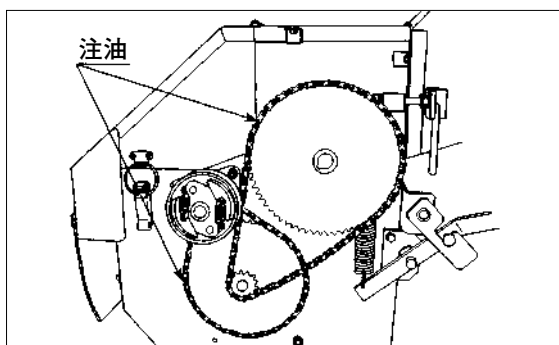
**！ 注意**

- 走行Vベルトは定期的に点検、亀裂等の異常があった場合は、交換してください。走行中に切断した場合、坂道などで自重により暴走する危険があります。

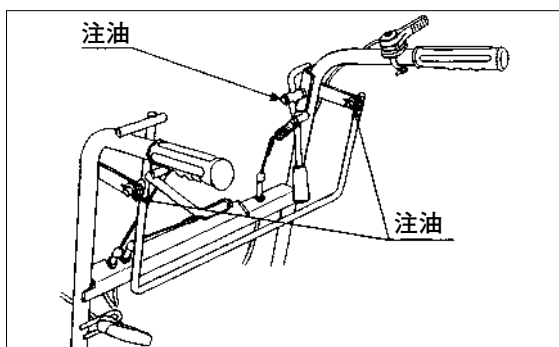


**2. 定期注油箇所**

①チェーン



②走行・作業クラッチ支点部



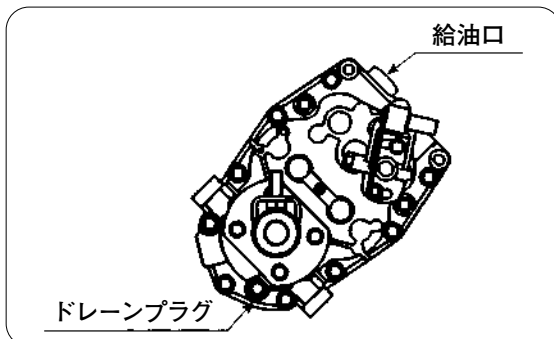
**3. ミッションケースのオイル交換**

**定期オイル交換**

オイルの交換は300～500時間毎に行なってください。  
オイルの抜き取りは、ドレーンプラグを外して行ない、給油口から給油してください。

**重要**

- ミッションオイルを補給・交換するときは、給油口の周りをきれいにしてください。ミッションケース内に泥などが混入すると、故障の原因になります。



**4. チェーン、ワイヤの張り調節**

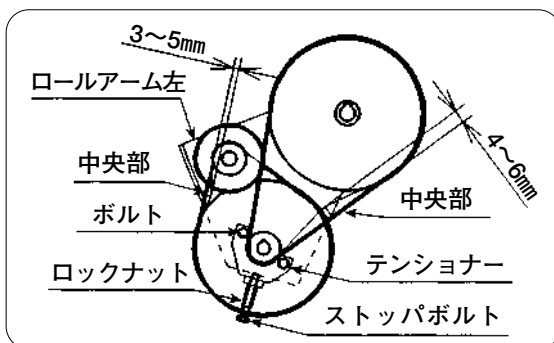
チェーン、ベルトに山越え、スリップなどが発生する場合に調節してください。強く張り過ぎますと耐久性が低下しますのでご注意ください。

**■ロール駆動チェーン**

- ①テンショナーを固定しているボルトと、ストップボルトのロックナットをゆるめます。
- ②ストップボルトでチェーンの張りが表記寸法になるように調節し、ボルトでテンショナーを固定します。
- ③ロックナットで、ストップボルトを固定します。
- ④固定後、再度表記寸法であるか確認し、表記寸法でない場合は、調節し直してください。

**重要**

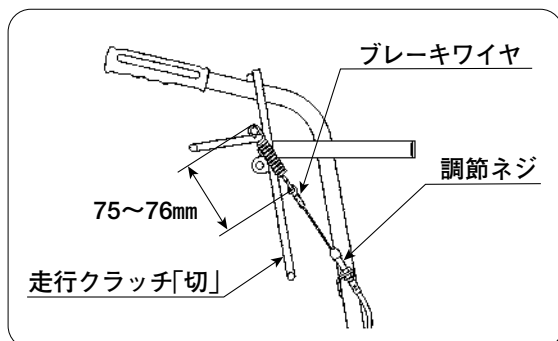
- チェーンを強く張り過ぎると、自動遠心クラッチが正常に作動せず、エンジン停止につながる場合があります。





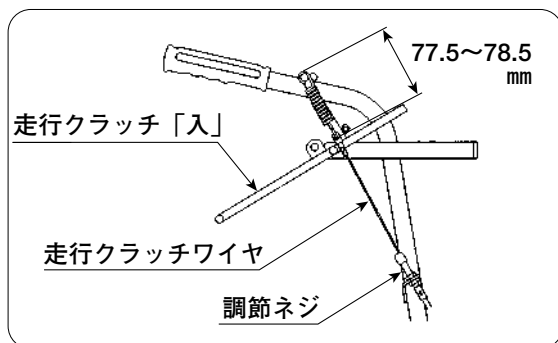
### ■ブレーキワイヤの調整

- ①走行クラッチを「切」にします。
- ②ブレーキワイヤの調節ネジの止めナットでスプリングのフック外側の長さが75～76mmになるように張り調節してください。



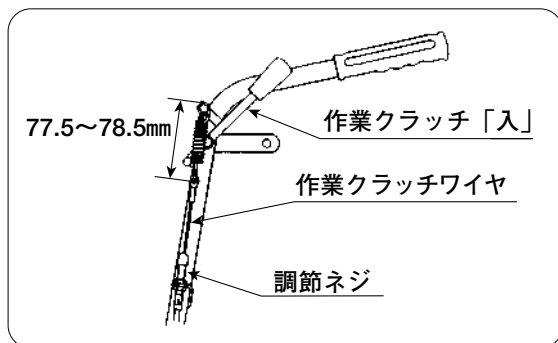
### ■走行クラッチワイヤの調整

- ①走行クラッチを「入」にします。
- ②走行クラッチワイヤの調節ネジの止めナットでスプリングのフック外側の長さが77.5～78.5mmになるように張り調節してください。



### ■作業クラッチワイヤの調整

- ①作業クラッチを「入」にします。
- ②作業クラッチワイヤの調節ネジの止めナットでスプリングのフック外側の長さが77.5～78.5mmになるように張り調節してください。



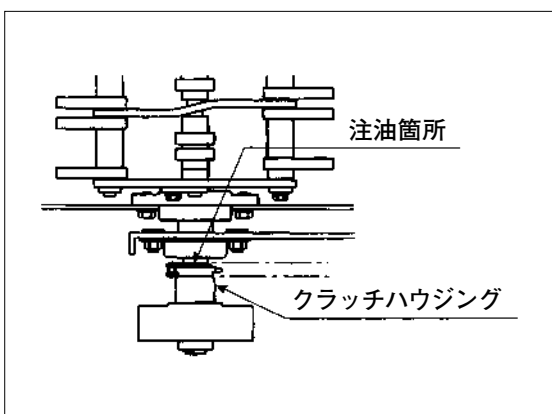
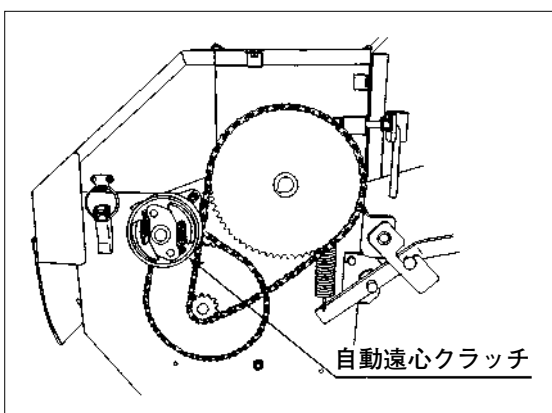
### 5. クラッチハウジングへの注油

本製品は過負荷でエンジン回転が落ちた場合、自動遠心クラッチの働きにより食い込みロールの回転を止め、エンジン停止を防止しています。

エンジン回転が落ちてでも食い込みロールが止まらずに、エンジン停止が発生する場合は、クラッチハウジングの後部より数滴程度注油してください。

#### 重要

- 注油は必要な場合にのみ、適量を注油してください。必要以上の量注油を行うと、クラッチがスリップし食い込みが悪くなるおそれがあります。



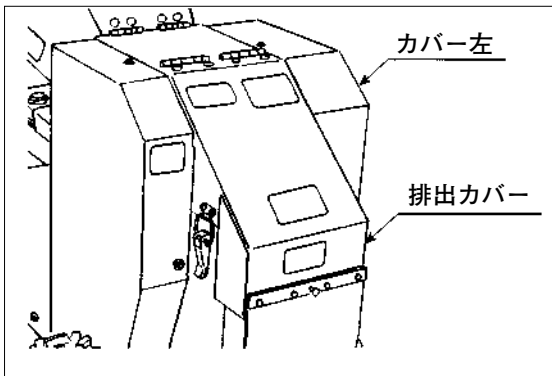
## 6. ハンマナイフの点検・交換

### ⚠ 注意

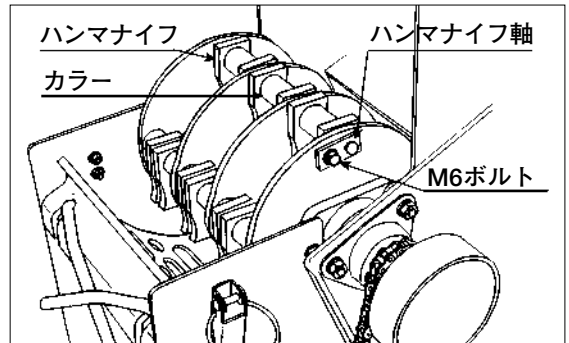
- ハンマナイフの点検・交換は革手袋などを着用して行ってください。刃先でケガをすることがあります。

### ■ハンマナイフの交換

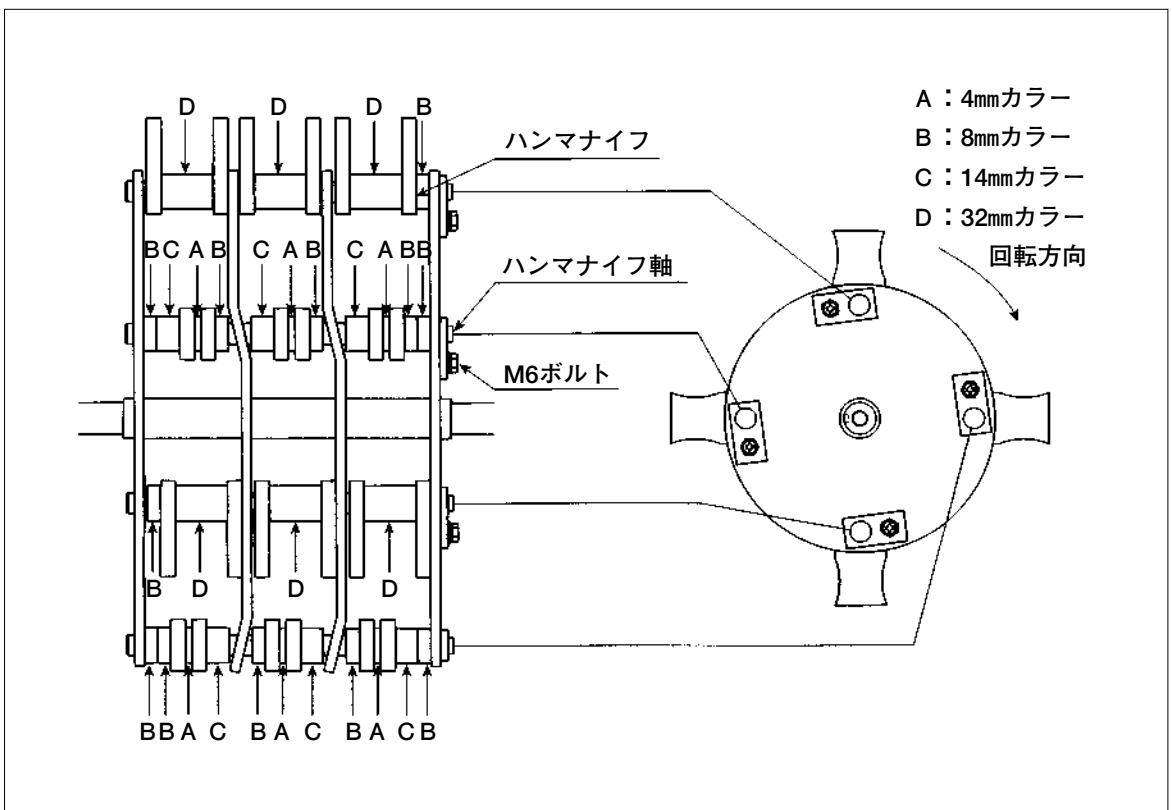
- ハンマナイフの刃先に丸みが出てきましたら交換してください。
  - ナイフは両刃になっています。組み替えて使用できます。
- ①カバー左を外す。
  - ②排出カバーを開ける。



- ③ハンマナイフ軸を固定しているM6ボルトを外し、ハンマナイフ軸を抜きながらハンマナイフとカラーを外す。



- 取付けは下図を参照にし、取外しの逆の順で組み付けてください。



# 長期格納のしかた

## ⚠ 注意

- 機械の保管中に子供さん達が近よらないよう注意してください。
- 機械は転倒しないような安定した場所で火気類のないところに保管してください。

- ①各部に付着した泥、木屑などの汚れをきれいに水で洗い落とし、そのあと水分が残らないようにふき取ってください。
- ②機体が乾いた後、油布で各部を手入れしてください。
- ③定期注油箇所注油し、ハンマナイフを油ぶきしてください。又日頃注油していない各回転部・支点・カバー内のテンションアーム支点部にも注油し、錆びないようにしてください。
- ④雨風のあたらない乾燥した場所へ保管してください。
- ⑤エンジンについてはエンジンの取扱説明書をご覧ください。
- ⑥30日以上エンジンを始動しない場合は、燃料を完全に抜き取ってください。

# 不調の原因と処置

## ⚠ 注意

- 点検・調節は必ずエンジンを停止し、機械の回転が止まってから行なってください。
- 外したカバーは、元通りに組付け、ボルト・ナットは確実に締付けてください。

現象	原因	処置	参照ページ
供給物が食い込まない	枝が太い	細い枝にする	10
	供給量が多い	供給量を減らす	—
	枝が供給口に引っ掛かっている	枝を落として供給する	10
破碎部で詰まる	枝が太い	細い枝にする	10
	回転数が低い	回転数を「高」にする	13
	破碎部駆動ベルトがスリップしている	作業クラッチワイヤを調節する	16
タイヤが動かない	変速レバーが確実に入っていない	「前進」又は「後進」に変速レバーを確実に入れる	11
	走行ベルトがスリップしている	走行クラッチワイヤを調節する	16
ブレーキがきかない	変速レバーが「中立」になっている	「前進」または「後進」に変速レバーを入れる	11
	ワイヤが伸びている	ブレーキワイヤを調節する	16
エンジンがかからない	スイッチが「OFF」になっている	スイッチを「ON」にする	10
	燃料がない	燃料があるか点検し、ない場合は補給する	8
	燃料コックが閉まっている	燃料コックを「開」にする	10
スイッチを「OFF」にしてもエンジンが停止しない	スイッチのコードが外れている	スイッチのコードをつなぐ	—
エンストする	自動遠心クラッチが正常に作動していない	ローラ駆動チェーンを調節する	15
		軸とクラッチハウジングの間に注油する	16

# 仕 様

型 式		CW-202H (標準スクリーンタイプ)	CW-202H (5) (粗目スクリーンタイプ)
機体寸法	全 長 (mm)	1332	
	全 幅 (mm)	568・646	
	全 高 (mm)	1118	
総 重 量 (kg)	133		
最 大 破 碎 径 (mm)	60 (軟質材)、45 (硬質材)		
処 理 能 力 (kg/h)	400~500		
破 碎 方 式	フリースイングハンマ		
主 軸 回 転 数 (rpm)	3100		
走 行 速 度 (m/s)	前進・後進0.7		
エ ン ジ ン	名 称	GB181LN-665	
	連続定格出力 (kw{PS}/rpm)	3.4 {4.7} /1800	
	最大出力 (kw{PS}/rpm)	4.6 {6.3} /1800	

※この仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

※最大破碎径、処理能力は破碎物の材質及び形状、作業条件等により変動します。

# 消耗部品

品 番	品 名	備 考
71715-1132-1	ブイベルト	SA#43W600
71716-1113-1	ブイベルト	SB#65
71715-3142-1	プレート (モドリボウシ)	
71717-3112-1	ナイフ (ハンマ)	
71715-3148-1	ゴム (ハイシュツ)	
KA01091AA004	クリーナエレメント	
KF70058AA	フューエルホース	長さ150mm
P051Y08X370	フューエルホース	長さ370mm
KE41022AD	スパークプラグ	BP6HS

# オプション

この機械には次のオプションがあります。もよりの販売店・農協でお求めのうえご使用ください。

## ■標準スクリーン

品 番	品 名
71717-3132-1	スクリーン

## ■粗目スクリーン

- 青い葉付き又は軟質材 (杉、桃、ブドウ、桑等) の生材等で標準のスクリーンが早期に目詰まりする場合に使用します。

品 番	品 名
71717-9111-1	スクリーン (アラメ)

# 安全説明確認カード

説明者（販売店・農協）控

年 月 日

私は説明員から安全についての説明をききました。

ご使用者住所

氏名



販売店・農協名

担当者

型 式

製造番号

## 【基本事項】

チェック

1. 作業管理者を決めること。	
2. 作業に適した健康人であること。	
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。	
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。	
5. 不当な改造をしないこと。	

チェック

14. 本機の前傾角度は15°で横転角度は10°です。それ以上の傾斜面には危険ですから乗り入れないこと。	
15. トラックなどへの積降し作業時の注意 <ul style="list-style-type: none"><li>● 水平で平坦な場所で行なうこと。</li><li>● じゅうぶんな強度と長さ（乗せる高さの4倍以上）のすべり止めのついたあゆみ板を使用すること。</li><li>● 積降しは低速で行ない、途中での変速レバーの操作はしないこと。</li></ul>	
16. 破砕作業は水平でしっかりと安定した火気のない所で行なうこと。	
17. 破砕作業は保護メガネを着用して行なうこと。	
18. 刃物回転中は供給口・排出口の中に絶対に手を入れないこと。	
19. 排出口を人や家畜、火気に向けないこと。	
20. 破砕作業及び駐車時は走行クラッチを必ず「切」にすること。	
21. チッパー回転中は周囲に人を近づけないこと。	
22. 作業に異常が発生したときは、すぐにエンジンを停止すること。	
23. 供給物に異物が混入しないように注意すること。	
24. エンジン運転中と停止後10分間はエンジンに触れないこと。	
25. 破砕作業時の注意 <ul style="list-style-type: none"><li>● 作業中供給口の前の（危険ゾーン）には立たないこと。</li><li>● 供給作業は、必ず供給口に向かって左側又は右側の作業位置から行なうこと。</li></ul>	

## 【作業について】

チェック

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。	
2. 作業場所の換気と明るさに注意を払うこと。	
3. 作業に合った服装で行なうこと。軍手は使用しないこと。	
4. 毎日作業前にエンジン・チップターの点検・掃除を行なうこと。	
5. 燃料補給時の注意 <ul style="list-style-type: none"><li>● 必ずエンジンを停止し、冷えてから行なうこと。</li><li>● 火気の近くやくわえタバコでは絶対に行なわないこと。</li><li>● キャップは確実に締め、こぼれた燃料はふきとること。</li></ul>	
6. エンジン始動時の注意 <ul style="list-style-type: none"><li>● カバー類を必ず取付けること。</li><li>● 周囲の安全を確認すること。</li><li>● 必ずクラッチを切ること。</li></ul>	
7. 発進・旋回はエンジン回転を低速にして行なうこと。	
8. 走行中絶対チップターを回さないこと。	
9. 走行中手放し運転は行なわないこと。	
10. 機械に荷物を載せて運搬車として使用しないこと。	
11. 坂道の途中では変速レバーの操作を行なわないこと。	
12. 機械から離れる時は必ずエンジンを停止し、冷えるまで待つこと。	
13. やむなく傾斜地に置くときは必ず車止めをすること。	

## 【点検・格納について】

チェック

1. 点検・調整はエンジンを停止し、機械の回転が止まってから行なうこと。	
2. ハンマナイフを点検・整備するときは、革手袋を着用すること。	
3. 保管中には子供たちに触れさせないこと。	
4. 水平で火気類のないところに保管すること。	



# 安全確認一覧表

## 【基本事項】

1. 作業管理者を決めること。
2. 作業に適した健康人であること。
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。
5. 不当な改造をしないこと。

## 【作業について】

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。
2. 作業場所の換気と明るさに注意を払うこと。
3. 作業に合った服装で行なうこと。軍手は使用しないこと。
4. 毎日作業前にエンジン・チップターの点検・掃除を行なうこと。
5. 燃料補給時の注意 <ul style="list-style-type: none"><li>●必ずエンジンを停止し、冷えてから行なうこと。</li><li>●火気の近くやくわえタバコでは絶対に行なわないこと。</li><li>●キャップは確実に締め、こぼれた燃料はふきとること。</li></ul>
6. エンジン始動時の注意 <ul style="list-style-type: none"><li>●カバー類を必ず取付けること。</li><li>●周囲の安全を確認すること。</li><li>●必ずクラッチを切ること。</li></ul>
7. 発進・旋回はエンジン回転を低速にして行なうこと。
8. 走行中絶対チップターを回さないこと。
9. 走行中手放し運転は行なわないこと。
10. 機械に荷物を載せて運搬車として使用しないこと。
11. 坂道の途中では変速レバーの操作を行なわないこと。
12. 機械から離れる時は必ずエンジンを停止し、冷えるまで待つこと。
13. やむなく傾斜地に置くときは必ず車止めをすること。
14. 本機の前角度は15°で横転角度は10°です。それ以上の傾斜面には危険ですから乗り入れないこと。
15. トラックなどへの積降し作業時の注意 <ul style="list-style-type: none"><li>●水平で平坦な場所で行なうこと。</li><li>●じゅうぶんな強度と長さ（乗せる高さの4倍以上）のすべり止めのついたあゆみ板を使用すること。</li><li>●積降しは低速で行ない、途中での変速レバーの操作はしないこと。</li></ul>
16. 破碎作業は水平でしっかりと安定した火気のない所で行なうこと。
17. 破碎作業は保護メガネを着用して行なうこと。
18. 刃物回転中は供給口・排出口の中に絶対に手を入れないこと。
19. 排出口を人や家畜、火気に向けないこと。
20. 破碎作業及び駐車時は走行クラッチを必ず「切」にすること。
21. チップター回転中は周囲に人を近づけないこと。
22. 作業に異常が発生したときは、すぐにエンジンを停止すること。
23. 供給物に異物が混入しないように注意すること。
24. エンジン運転中と停止後10分間はエンジンに触れないこと。
25. 破碎作業時の注意 <ul style="list-style-type: none"><li>●作業中供給口の前（危険ゾーン）には立たないこと。</li><li>●供給作業は、必ず供給口に向かって左側又は右側の作業位置から行なうこと。</li></ul>

## 【点検・格納について】

1. 点検・調整はエンジンを停止し、機械の回転が止まってから行なうこと。
2. ハンマナイフを点検・整備するときは、革手袋を着用すること。
3. 保管中には子供たちに触れさせないこと。
4. 水平で火気類のないところに保管すること。

## 純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求め下さい。  
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

## 純正オプションを使いましょう

純正オプションは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。  
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。



### 株式会社 齋藤農機製作所

- 本社・工場 〒998-0832 山形県酒田市両羽町332番地  
TEL0234(23)1511(代) ファクシミリ0234(26)4161
- 北海道工場 〒079-0181 北海道岩見沢市岡山町18番地  
TEL0126(24)5401(代) ファクシミリ0126(24)5402
- 九州営業所 〒861-8039 熊本県熊本市東区长嶺南1丁目1番10号  
TEL096(384)6865(代) ファクシミリ096(384)6864
- 大阪営業所 〒590-0808 大阪府堺市堺区旭ヶ丘中町1丁6番29号  
TEL072(245)0797(代) ファクシミリ072(245)0818

品番 71735-7111-1